

ただいま 賛助会員 募集中!!

伊那谷から
世界を見とおせ

伊那谷発、体系的に社会学を学べるおとなの学習塾

画期的なこのおとなの学び舎を

あなたの手で育てませんか

地域を知る、日本を知る、世界を知る、おとなの学び舎

電 援 塾

<http://ryuenjyuku.blog.shinobi.jp>

◇竜援塾の目的

地域、全国、そして世界の人々の生活と文化をいつも頭に描き、交流し、共に生き、共に学ぶ、共生の大地を拓くおとなの学び舎として、地域を知る、日本を知る、世界を知ることによって自己の理想とする社会イメージを構築し、これを具現化するための手法を獲得することを目的とします。

◇募集内容

・竜援塾サポーター

申込書にある本塾の目的に賛同し、**年会費(一口1千円)**を納入して頂いた方。

本塾はサポーターに対し通信を発行します。サポーターは聴講券(1千円)を購入することでサポーター公開講座を聴講できます。サポーターは竜援塾SNSに参加し、発言することができます。

※尚、聴講時の発言、撮影、録音等はお断りします。

・賛助会員

本塾の目的に賛同し、**運営資金(一口1万円1口以上)**を提供して頂いた法人並びに個人。

一口につき10枚の聴講券を支給します。この券は本人以外でも使用できます。塾の運営会議に出席し、主に塾運営に関する発言権並びに決定参加権を有します。

・奨学賛助会員 (スカラシップオーナー)

若年者の受講のために**3年間の奨学金(一口9万円、3万円/年)**を提供して頂いた法人並びに個人。

すべての講義を聴講することができます。塾の運営会議に出席することができます。奨学生の選考に参加できます。

推薦人 (アイウエオ順)

池上洋通

(自治体問題研究所理事)

色平哲郎

(南相木村診療所長)

鶴飼 哲

(一橋大学大学院言語社会研究科教授)

大津慶子

(首都大学東京健康福祉学部理学療法学科助教授)

岡庭一雄

(阿智村村長)

北原明倫

(健和会副理事長、かやの木診療所長)

熊谷正俊

(阿智村役場職員組合執行委員長)

黒田敏子

(上田市前市議)

さとうしゅういち

(社会市民連合共同代表者・事務局長)

高橋寛治

(和歌山県高野町副町長)

二田水弘平

(全野党と市民の共闘会議代表)

久松重光

(翻訳家)

前澤啓子

(伊那市議)

松村満久

(元中川村公民館長)

和田静子

(植物画家・エッセイスト)

和田 浩

(健和会病院小児科医師)

趣意書

中央アルプス、南アルプスの造山運動と天竜川の侵食によりつくられた伊那谷は、3万年以上の古きよりこの地で生きてきた人々をはぐくんできました。

いまなお豊かな自然とともに生きる伊那谷に暮らすわたしたちの先達は、1924年(大正13年)に、信南自由大学(後の伊那自由大学)をつくり、その趣意書に「民衆が労働しつつ生涯学ぶ民衆大学、すなわちこの自由大学こそは教育の本流だと見られなければならぬことが、強く主張せられるに至った」と宣言しました。

それから61年後の1985年に、ユネスコが「学習権宣言」を採択し、成人における学習の受容性を世界に訴えました。私たちは、この宣言のはるか前に、伊那谷の地でその精神を現実のものとした先達の卓見と教養の深さに、強い衝撃を受けます。

ひるがえって、いまの私たちの学びと精神活動の場はどうでしょうか。

社会格差という言葉に象徴されるような理不尽な社会現象、イラクへの派兵といった政治の動きの中で、どれほどの学びの場や研究の場を用意してきたでしょうか。また、急速に進む高度情報化社会とボーダレス化、地球環境の悪化、少子化などに対する正確な理解が無ければ、この国の主権者として活動できませんし、そもそも一人前の社会人とも呼べないのではないのでしょうか。

いま学校教育の危機が叫ばれていますが、社会教育、成人の学習はもっと深刻な危機の中にあります。

そこで私たちは、83年前に信南自由大学が掲げた精神を受け継ぎ、この地に「地域を知る、日本を知る、世界を知る、おとなの学び舎」として「竜援塾」を設立することを決意しました。

「竜援塾」は、誰もが参加できる自由な学校です。天竜川をはさんで暮らすこの町、どこの村にも教室が実現することを目指します。

地域、全国、そして世界の人々の生活と文化をいつも頭に描き、交流し、共に生き、共に学ぶ、共生の大地を拓く学校として「竜援塾」は始動します。

いま学ぶことがなぜ必要か



竜援塾講師 池上 洋通

(自治体問題研究所理事、日本ジャーナリスト会議会員)

世界はいま、急速にボーダレス化が進んでいます。人も物もさかに行き合い、交流し、交換され、交叉しています。食料もエネルギーも自国だけで解決できませんし、地球温暖化などの環境問題は、なおさら世界的な規模でなければ解決できません。個人も、それぞれの国や民族も、互いに依存しあう共生の社会が始まっているのです。

世界の人口も、全体として静止状態に入り始めました。私たちは循環型の「ゼロ成長社会」の入り口に立っているといつて良いでしょう。

1992年、ブラジルのリオデジャネイロで行われた世界環境サミットが宣言した「サステナブルソサエティ（持続可能な社会）」が実現出来る条件が整ってきています。その基本思想こそ「自然と人間、人間と人間の共生」です。

しかしいま、人類史のその本流を、戦争・武力紛争がはばんでいます。すべての人と民族の歴史とそれをはぐくんだ環境を文化として尊ぶ、多文化主義の確立が強く求められています。それは私たちが、アイヌや在日の人たちの文化から学び、それを尊ぶこととつながっています。

しかし、そのためには世界と日本について学び、地域と地方自治について学び、日本国憲法が描いた国家と社会プログラムを実現する力を身につけるほかありません。学ばなければ、自らの権利を知ること、人として生きることでもできないでしょう。

そして、いま学ぶことは、すべての戦争を止める主体者になることなのです。

(2007年2月12日 設立準備講演より)

本コースのカリキュラム (通信科基礎コースは、本コースの1年目と同内容)

○1年目 基礎—理想とする社会のイメージを諸国の歴史と実践そして憲法から学ぶ

開塾式 2007年4月29日(日) 午後1時30分～ 中川文化センター
(<http://www.vill.nakagawa.nagano.jp/culture/center.html>)

【本年度 講義日程】 (☆竜援塾サポーターを対象とした公開講座 2年目以降は10月までに決定)
講義時間は基本的に午後1時30分～5時

1) 5月24日(土) 13:45-17:30 講師:色平哲郎
「メディアリテラシーとメディカルリテラシー」
中川村中川文化センター視聴覚室

2) 6月21日(土) 13:30-17:30 講師:池上洋通
特別講義「私たちはなぜ学ぶか—世界と日本の直面する課題と私たち」

憲法①「国民主権と立憲主義—主権者であるということ」

3) 7月19日(土) 13:30-17:30 講師:池上洋通
憲法②「恒久平和主義—戦争で平和をつくれるか」

4) 8月9日(土) 時間未定 講師:鞆飼哲
(日時交渉中6月に決定予定)

5) 9月27日(土) 13:30-17:30 講師:池上洋通
憲法③「基本的人権—民衆の運動が生み出した人間の尊厳」

6) 10月18日(土)13:30-17:30 講師:池上洋通
憲法④「議会制民主主義—討論でプランする国と社会のあり方」

7) 11月29日(土)13:30-17:30 講師:池上洋通
憲法⑤「地方自治—生活の場に民主主義の政治を確立する」

8) 12月20日(土)時間未定 講師:高橋哲哉
「靖国と近代国家形成」

9) 1月24日(土)13:30-17:30 講師:池上洋通
合同講義「財政問題をどう考えるか—国家財政・地方財政の原則と実際」

10)2月or3月 講師:渡辺 治(交渉中)

○2年目 応用—今日の社会問題を憲法に照らして現状を把握し、社会を読む

講師は小森陽一氏、色平哲郎氏、今井一氏、伊波宜野湾市長、池上洋通氏、渡辺治氏

○3年目 実践—憲法を根底にすえて市民としての社会参加を実現する

講師は目下交渉中

奨学金制度

本科塾生の学費を奨学賛助会員が補助します
希望者は小論文(「憲法と地方自治」2000字程度)を提出、選考により決定。
本科本コース 1期 若干名 年間学費 3万円を補助

竜援塾運営委員会

運営委員長 平澤 和雄 運営委員 倉田 節子、寺平 秀行、湯沢 賢一、若林 敏明

事務局

中川 賢俊、宮下 敦

竜援塾



地域を知る、日本を知る、世界を知る、おとなの学び舎

知識は人を遠ざける
教養は人を近づける

地球温暖化をはじめ、ますます厳しくなる世界を生き抜くために、私たちの税金がどう大事に使われているかを知るために、原理と技術を学ぶことが今ほど必要とされている時はありません。

この伊那谷で生き抜くための知恵と教養を、みなさん一緒に身につけませんか。

竜援塾 会員申込書

フリガナ お名前	
ご住所	〒
電話番号	
携帯電話	
ファックス	
メールアドレス	
希望会員 希望の会員を○で 囲んでください	賛助会員 (個人 法人) 申し込み口数 <input type="checkbox"/> 奨学賛助会員 (個人 法人) 申し込み口数 <input type="checkbox"/> サポーター

竜援塾運営委員会

事務局
〒395-0155
長野県飯田市三日市場1013-1
TEL/FAX 0265-25-0038
事務局長 中川 賢俊 Handy 090-2162-0900
メールアドレス ryuenn_jyuku@mbr.nifty.com

会費振込み先
銀行名 飯田信用金庫 高森支店
口座名 竜援塾運営委員会 事務局 宮下 敦
普通口座 リユエンジ ユクワンエイインカイ ジムキョク ミヤシタ
4 5 1 8 7 0 4